

## 夏休みこそ自分磨きを！！

～ 子どもたちの「非認知能力」を高めるためにも ～

連日の猛暑が続いていますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。「何とか終業式まで！」と7月はじめは歯を食いしばってこられた方が多かったのでは？ やっと来た夏休み。保育園の方には申し訳ないんですが、学校や幼稚園ではこの間（夏休み）は授業（保育）がない分、気持ちがゆったりできると思います。私は現役時代、中学校でしたから部活が毎日のようにありましたが、授業がない分、すごく気持ちが楽だったのを覚えています。

さあ、ここでみなさんに提案したいのが、表題にある『自分磨き』です。特に、仕事とは直接関係のないことをしてみようということです。例えば、この間に「何冊の本を読むか」とか、「早朝散歩一日10,000歩」、「野洲の絶景写真50選を撮る」、「映画を20本見る」など。また、自転車での「びわー(いち)」。これは炎天下、とても一日で200kmあまりを自転車で回るのは大変ですから、1～2泊でどうですか？ でも、「この暑いのにとても・・・」と言う人は、電車でもできます。琵琶湖線と湖西線は「JR特定区間」になっているので、野洲から守山、あるいは篠原の一駅間だけの切符を買って、その行先の駅まで反対周りに乗っていくのです。途中で電車を降りて改札を出ずに景色を楽しむだけなら費用はかかりません。（本当は、これは冬場の雪景色のほうが「感動的」なんですが・・・）また、京都や大阪、新大阪などの大きな駅とは違い、駅ナカのキオスクや食堂はありませんので、あらかじめ食べ物を買ってからの乗車をお勧めします。さらに、鉄道の利用で言いますと「青春18きっぷ」というのがあります。5枚つづりですが、1枚当たり2千数百円です。これ1枚で野洲から新快速に乗って姫路までの電車旅はどうでしょう。世界遺産「姫路城」の見学です。各停や快速も乗れます。一日の始発から終電までなら、JRのどこで何回降りても有効（全国乗り放題）です。もっと変わったところでは、「火起こし体験」（自宅でのバーベキューに、ライターやマッチを使わずに火をつけるなど）、あるいは幼少期を思い出して「どろだんごづくり」や「魚つかみ」「凧(たこ)あげ」はどうでしょう。

なんでこんな変わったことを提案しているかと言いますと、子どもたちの「非認知能力」の育成につなげたいからなんです。「非認知能力」とは、みんなと協働する力、想像力、忍耐力、コミュニケーション能力、自己理解や他者理解する力、セルフマネジメント（自分の感情をコントロールする力）など、いわゆる「学力テスト」では測れないさまざまな能力です。これらは、子どもたちの学力向上と大きくかかわると言われており、これからの社会を生き抜くための重要な力でもあると言われています。そして、この「非認知能力」は、就学前や小学校時代の生活体験や自然体験、それに遊びなどによって大きく育まれると言われています。しかし、先生方に今さらこの非認知能力を育成していただくと考えているわけではありません。先生方の『自分磨き』が、子どもたちの生きるモデルとなると思うからです。ここでお願いしたいのは、そうした子どもたちの心に火を灯(とも)していただけたらと思うからなんです。夏休み明け、担任の先生が自分の体験をリアルに、そして、おもしろそうに語ってくださることで、何人もの子どもの心に火がつくはずですよ。それを期待しています。

もちろん、これからの授業や学級集団づくりなどの研修は、「プロの教師」として何をおいても大切です。こちらは本業としてお願いします。

それでは、有意義な「夏休み」をお過ごしください。